

都立荻窪高等学校の教育課程

東京都立荻窪高等学校 教務部

(1) 令和7年度の教育課程

コアタイム共通科目		他部選択科目	
1 年 次	現代の国語② 地理総合② 数学Ⅰ③ 科学と人間生活② 化学基礎② 体育② 保健① 音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ② 英語コミュニケーションⅠ③ 総合的な探究の時間（人間と社会）①※1 単位数 20	H R ①	(日本語A④) ※2 学校外学修活動
2 年 次	言語文化② 歴史総合② 公共② 生物基礎または物理基礎② 体育② 保健① 総合英語Ⅰ③ 情報Ⅰ② 家庭総合② 総合的な探究の時間① 単位数 19	H R ①	・再履修のための選択科目 ・市民講師科目 ※下表参照 (日本語A④) ※2 学校外学修活動
3 年 次	実践国語④ 近代の東京③ 経済を学ぶ② 数学A② 体育③ 家庭総合② 総合英語Ⅰ② 総合的な探究の時間① 単位数 19	H R ①	0～10 単位選択可能 ・再履修のための選択科目 ・市民講師科目 ※下表参照 (日本語A④) ※2 学校外学修活動
4 年 次	教養国語② 時事問題② 数学B③ 体育② 論理・表現Ⅰ② 文書作成と表計算② ビジネス基礎② 総合的な探究の時間① 単位数 16	H R ①	0～10 単位選択可能 ・再履修のための選択科目 ・市民講師科目 ※下表参照 (日本語A④) ※2 学校外学修活動

- ・丸数字は各科目の単位数を意味する。
- ・他部選択科目とは、所属する部（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）の時間帯を越えた授業を指す。
- ・学校外における学修活動等（学校外学修活動）による単位認定とは、高等学校卒業程度認定試験や技能審査（簿記検定、英語検定等）・継続的な校外活動（成蹊大学での科目聴講生、社会福祉施設等でのボランティア活動、無償の就業体験）などによる単位修得方法をいう。1755分以上（約30時間）を1単位として認定する。なお、認定を受けるためには事前申請して審査を受ける必要がある。

※1 **総合的な探究の時間（人間と社会）①**は週時程外において実施する。（週に1時間学習するのではなく、面談週間や長期休業日前の時間等を用いて、集中的に学習を行う）

※2 **日本語A**は受講するために特別な条件があります。（日本語を母語としない生徒等）

☆学校外学修活動

- 大学との連携（成蹊大学の講義聴講）
- インターンシップ・ジョブシャドウ
- ボランティア活動
- スポーツ・文化活動
- 各種資格試験（日本漢字能力検定・実用数学技能検定・実用英語技能検定・日本語ワープロ検定 他）

(2) 時程表と時間割

<時程表>

部	時 限	時 間 帯
I 部	1 限	8 : 3 5 ~ 9 : 2 0
	2 限	9 : 2 5 ~ 1 0 : 1 0
	3 限	1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 0 5
	4 限	1 1 : 1 0 ~ 1 1 : 5 5
	S H R	1 1 : 5 5 ~ 1 2 : 0 0
II 部	5 限	1 2 : 4 0 ~ 1 3 : 2 5
	6 限	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 1 5
	7 限	1 4 : 2 5 ~ 1 5 : 1 0
	8 限	1 5 : 1 5 ~ 1 6 : 0 0
	S H R	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 0 5
III 部	給 食	1 7 : 0 5 ~ 1 7 : 3 0
	9 限	1 7 : 3 0 ~ 1 8 : 1 5
	10 限	1 8 : 2 0 ~ 1 9 : 0 5
	11 限	1 9 : 1 5 ~ 2 0 : 0 0
	12 限	2 0 : 0 5 ~ 2 0 : 5 0
	S H R	2 0 : 5 0 ~ 2 0 : 5 5

多くの単位制高校では、自分で学習する科目を自由に選択して一から時間割を作りますが、簡素化・効率化するため、本校では生徒全員に必要な科目を年次ごとにパッケージ化し、「コアタイム」に設置しています。(コアタイム… I部：1～4限、II部5～8限、III部9～12限のこと、下図参照) また、コアタイム外(他部)に「選択科目」が設置されています。なお、下図はコアタイムと他部の関係を示していますが、履修する科目によっては学習時間帯が大きく異なる場合があります。

2年次以上の生徒は、市民講師科目や必履修科目の再履修に必要な講座を受講することができます。

<時間割のイメージ>

I 部	月	火	水	木	金
1 限	コアタイム				
2 限					
3 限					
4 限					
5 限	他部				
6 限					
7 限					
8 限					

II 部	月	火	水	木	金
3 限	他部				
4 限					
5 限	コアタイム				
6 限					
7 限					
8 限					
9 限	他部				
10 限					

III 部	月	火	水	木	金
5 限	他部				
6 限					
7 限					
8 限					
9 限	コアタイム				
10 限					
11 限					
12 限					

(3) 単位・卒業について

(3) - 1. 「単位」「履修」「修得」とは

①「単位」とは、1週間の時間割中の科目（授業）の時間数のことです。

（例：同じ名前の授業が週に3時間授業がある場合、その授業は3単位の授業である）

②「履修」とは、年間を通して、その科目（授業）に出席することです。

・1年間で1単位35週授業を実施することを基準とし、各科目において標準授業時間数の4分の3以上出席することが履修認定の条件となります。

・ある科目の授業で1年間の欠席が4分の1を超えると「未履修」となり、成績が良くても授業に参加していないとみなされます。

（例：3単位の授業は欠席が27時間以上になると未履修となる）

・1時間の授業中に15分以内の不在を遅刻とし、遅刻3回で欠席1時間となります。

・1時間の授業中に15分を超えて不在であると、その授業は欠席とみなします。

・必履修科目が未履修となった場合は、卒業までに必ず再履修する必要があります。

③「修得」とは、「履修」できた授業で年度末の5段階評定「2」以上がつくことです。

（例：3単位の授業の評定が「4」ならば、3単位修得となる）

・評定「1」の場合は、履修はできても修得はできず「未修得」となります。

(3) - 2. 卒業とは

以下の3条件全てを満たすことで「卒業」が認定されます：

(1) 高等学校の通算在籍期間が3年以上であること。

(2) 学習指導要領で定められた必履修科目（東京都必履修を含む）をすべて履修していること。

(3) 修得単位数の合計が74単位以上であること。（学校外学修活動を含む。）

【共通】

・本校は定時制課程の高校であり、基本的には4年かけて卒業に必要な74単位の修得を目指します。ただし、その74単位を3年間で修得することができれば3年間での卒業も可能です。

・標準4年間での卒業を希望する場合は、コアタイム（1日4時間の授業）を4年間学習して卒業に必要な74単位以上の修得を目指します。

・Ⅱ部とⅢ部の生徒は他部の授業を選択した場合、曜日によって登校時刻が変わるので、遅刻をしないように注意してください。

・3年間での卒業を希望する場合は、コアタイム（1日4時間の授業）だけでなく、学校外における学修活動等により16単位分の単位認定が必要です。

・市民講師科目（アニメーション基礎・演劇入門・茶道）あるいは学習指導要領上の必履修科目の履修のため、コアタイム以外の時間帯（他部）で授業を受けることができます。

・他部の授業は、2年次以上から0～10単位まで選択し学習することができます。

(4) その他

①本校は単位制ですが、生徒の学習状況の適切な把握のため、3学期制としています。

②7月に1学期評価、12月に2学期評価、3月に年度末評価を行い、通知表を発行します。

③出席や学習状況等について担任からご家庭に電話連絡をし、面談を行うこともあります。

④他部の授業を受けるⅠ・Ⅱ部の生徒は、昼食の持参が望ましいです。

⑤本校の生徒一人1台端末（スマスク端末）はSurfaceです。それ以外の端末をお持ちの方、あるいは端末を持っていない方は担任にご相談ください。

ご家庭と連携してお子様を卒業まで導くため、本校の教育活動にご理解ご協力をお願い致します。